

郵便報知新聞
錦画第九号

東京麻布簗笥町野田吉五郎
が妻をねある者の過日より新也
鉄道寮に住まうクリスに方に
傭まねたるが同一雇男寅次君
が通ふ及びなると云うを聞
と尋しく吉五郎は取のやせ刀を
手狭く明治八年六月廿日朝
初ふクリスの方を駐めかたに
前の洗濯を仕居たるを見分直
小物も三言せむ切り伏せかたに
己も割腹せしとて夫を大事
お尋ねる外へ雇あふ出さぬ
う能いふ

穂千堂記



新刊
吉五郎

吉五郎
寅次郎
吉五郎